

ラファエル・ブラーガを解放せ

よ！連帯のタベ

@カフェ・ラバンデリア



事件の概要

- ・2013年6月にブラジル全土で盛り上がったバス等の運賃値上げ反対運動の中で、たまたまデモの側で、当時25歳のラファエル・ブラーガが逮捕された。
- ・持っていた洗剤で火炎瓶製造しようとしたかどで起訴、5年と2ヶ月の実刑判決。
- ・2016年1月、足首にGPS装置をつけて仮釈放の身であったラファエルが、パンを回でに出た先で逮捕される。警察官が用意したコカインと大麻、そして花火(警察が来るのを知らせる見張りの道具)をラファエルの所有物としてでっち上げ、麻薬取引に関わったという罪状。
- ・2017年4月に11年の実刑判決。現在控訴準備中。

事件の詳細①一回目の逮捕

・ラファエルは資源回収をしながら、交通費を浮かせるため平日路上で寝起きしながら週末自宅に帰るとい生活をしていた。逮捕されたのはときどき寝床にしていた空家に到着したとき。

・事件当日、デモが行われているのは知っていたが運賃値上げ反対という理由までは知らなかった。

・逮捕されたときは他の3名のデモ参加者も一緒だったが、ラファエル以外はすぐに釈放された。

・裁判が始めるまで5ヶ月の間拘留。



1回目の逮捕現場である、ラパ地区ラブラジオ通り

画像を隠す

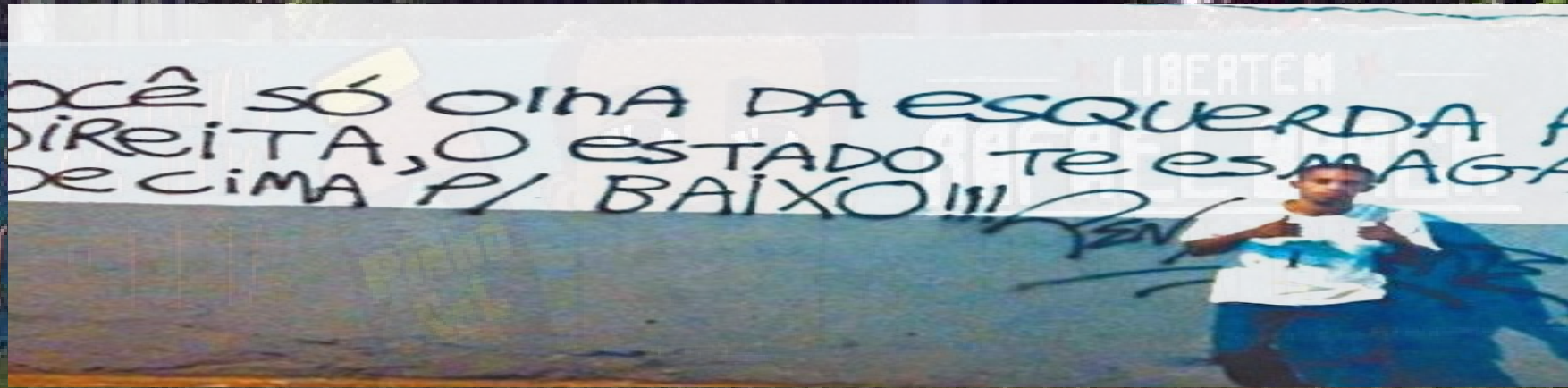


← 市民警察

画像を隠す

事件の詳細②二回の逮捕の間

2014年、昼は外で仕事、夜は刑務所に帰るという半開放刑の身であったラファエルが、ある落書きの前で取った写真が原因でほぼ1ヶ月独居房に入れられた。



「右を見たり左を見たりしている間に政府は上から下に踏みつけにくる。」

事件の詳細③2度目の逮捕

- ・2015年12月1日から足首に追跡装置を付けた状態で仮釈放となった。
- ・2016年、1月12日、お母さんのアドリアーナさんに頼まれ朝食のパンを買いに出ると、平和維持部隊(UPP)の警官に呼び止められました。
- ・暴力的に路地裏へ連れ去った上、麻薬密売に関わる人物の情報を聞き出そうとするもラファエルはなにも知らず答えることができない。
- ・そこで、警官らは薬物取引への関わりを認めなければラファエルをレイプすると脅す。
- ・警察がてりだした麻薬と花火のセットは「でっちあげキット」として貧民街(ファベラ)でよく使われるもの

裁判の不当性

- ・裁判中の警察官の証言には食い違いがあった。

ラファエルの所有物と言われる薬物には地域のギャングの名前の入ったタグがつけられていたが、これをもって売買に関係していると判断するのは誤まり。なぜならどこでコカインや大麻を買っても、同じようなタグはついているもので、ラファエルのポケットには現金3リアル(100円ほど)しかなかった→つまり売買していたとは考えにくい。

- ・ラファエルの無実を証明する防犯カメラの映像やGPS装置のデータは公判で提出が拒否された。

隣人のEvelynさんがラファエルが手ぶらで暴力的に警察官に連れて行かれたことを証言しましたが、当該と「家族ぐるみの付き合い」だとして十分な証拠とみなされず

分析①2回の逮捕の性格

・2013年の運動への弾圧の意図→活動家でなく、黒人で、貧乏、さらに路上生活をしていたという点から不当逮捕へ対抗するリソース(弁護士など法的サポートへのアクセスがない、運動関係の支援の組織につながりにくい)ため、無理のある逮捕・拘留に繋がやすかった。

・警察が用意した薬物の量は、中流階級が居住する地域で白人が所持していても売人ではなくユーザーと判断されることが多い程度のものである。2回目の逮捕はラファエルの自宅があるファベラ(コンプレクソ・ド・アレマオン、ヴィラクルゼイロ)だからこそ起きたもの

分析②背景にある問題

- ・大量拘禁→法務省によれば、ブラジルは世界第4位人数が刑務所に服役している。そのうち若者が54.8%
- ・UPP、PMIによる貧民黒人への暴力および殺人→世界でも殺人件数ダントツに多い。2012年には5万6千人が殺害された。2012年の殺人件数のうち50%以上が15歳から29歳の若者であり、77%が黒人である。2005年から2014年の間に、リオ・デ・ジャネイロ州で職務中の警察官による殺人が8,471件報告されている。そのうちリオ・デ・ジャネイロ市に絞ると5千132件に昇る。リオ・デ・ジャネイロ市職務中の警察官による「抵抗の結果による死亡」が過去五年間の殺人事件の16%を占める。2011年に調査開始されたリオ・デ・ジャネイロ市で起きた警察官による殺人220件を分析した結果、アムネスティ・インターナショナルはその後4年間で1件のみ警察官が起訴されたことを確認した。2015年4月時点で、183件が未だ調査中だった。

ブラジルにおける人種の歴史

リリア・シュワルツの調査

「あなたは人的偏見を持っているか→98%いいえと答える

「誰か人種的偏見を持っている人をしていなすか？→99%がはいと答える

- 1) 奴隷制
- 2) 奴隷制廃止後に元奴隷に対する社会的包括のプログラムがなかった
- 3) 社会的ダーヴィニズム、優生学、科学的人種主義の台頭
- 4) 民主的人種主義(みんな混血、人種差別ない)
- 5) 隠蔽された人種差別

現在→経済的アパルトヘイト